

【三信電気プレスリリース】

2017年9月15日

三信電気、幅広い用途に対応したモバイルライブエンコーダ「LiveU Solo」発売へ
～屋外でも携帯回線でYouTube、Facebook、Twitterなどへ直接ライブ配信～

三信電気株式会社（本社：東京都港区）は、同社が国内正規代理店であるLiveU社（本社：イスラエル）の新製品、LiveU Solo（ライブユー ソロ）を発売する。



LiveU Soloは接続されたカメラの映像・音声をリアルタイムにライブ配信サイトやSNSへ配信することが可能。最大の特徴は、2本のLTE/4Gなどの携帯回線とWi-Fi、LANを任意に組み合わせ広帯域を確保するボンディング技術。これにより屋外屋内のいずれでも最大1080Pのフルハイビジョン画質の安定したライブ配信を実現する。

ライブ動画は、YouTube、Facebook、Twitter（Periscope）など主要な配信サイトであれば「LiveU

Solo専用ポータルサイト」から簡単に配信できる他、RTMPストリーミングプロトコルに対応しているサイトであればライブ配信可能。

LiveU社のモバイルライブエンコーダは、優れたボンディング技術による移動撮影時の画質など基本性能の高さで放送業界では高く評価されており、すでに日本の放送業界ではトップシェアを誇っている。インターネットによるライブ中継の需要が高まる中、LiveU Soloは、ライブ配信サイト向けのソリューションとしてはいち早くボンディング技術を導入したことで発売開始が待たれていた。



「インターネット上の動画投稿サイトが人気を博し、動画配信が当たり前になったにもかかわらず、『ライブ』での配信ということになると放送や映像に関する専門的な知識がないと敷居が高かった。これには操作の煩雑さ、通信回線の確保、画質の維持などさまざまな原因があったが、LiveU Soloの登場でこれらの課題は一気に解決される。ライブ中継が身近になることで、企業や官公庁の映像活用は大きく変わるだろう。災害時の状況確認、祭典や成人式などの地域イベント中継、修学旅行や文化祭や部活動の試合などの学校行事の中継、ドローンと組み合わせた建築土木の工事進捗確認など、ライブ中継が活躍するシーンを考えると枚挙にいとまがない。放送で培われたLiveUの画像圧縮とボンディング技術は、企業や自治体の映像活用にも革命をもたらすだろう。」（森祐二 三信電気（株）取締役執行役員ソリューション営業本部副本部長）

【三信電気株式会社】

1951年設立、本社 東京都港区芝。東証一部上場。

半導体や電子部品の販売、ネットワークや映像システムの構築などを扱うエレクトロニクス総合商社。

海外の最先端の映像／ネットワーク関連のソフトウェア・ハードウェアを日本市場の顧客用途に最適化して導入するソリューションに強みを持つ。ラジオ・テレビ放送設備、編集スタジオ設備の設計・施工・運用実績も豊富。三信電気が手掛ける「三信データセンター」は小規模から運用できるシェアド・ラック方式を採用し、多様に利用できるセキュアなデータセンターとして注目されている。

【LiveU Ltd.】

2006年設立。本社：イスラエル。

LiveUはテレビ、モバイル、ソーシャルメディアなどへのストリーミングソリューションを通じてライブ中継に革新をもたらしている放送用映像機器メーカー。携帯回線を含むIP回線を複数利用して帯域を確保するボンディング・テクノロジーと特許申請中のライブビデオ配信テクノロジーは定評がある。

※詳細は日本代理店の三信電気映像システム営業部 LiveUマーケティングチームまで。

LiveU Webサイト <http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd/liveu.html>

電話：03-5484-7270